

ノラネコの被書でお困りの方へ ガーデンバリア®

取扱説明書及び保証書

この度はガーデンバリアをお買い上げいただきまして誠に有難うございました。
ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読み頂き正しくお使いください。
保証書はお買い上げ時点で所定事項を、ご記入の上、大切に保管してください。

各部の名称

【本体】GD-X型

質量 約470g

寸法 97.5mm × 96mm × 233mm

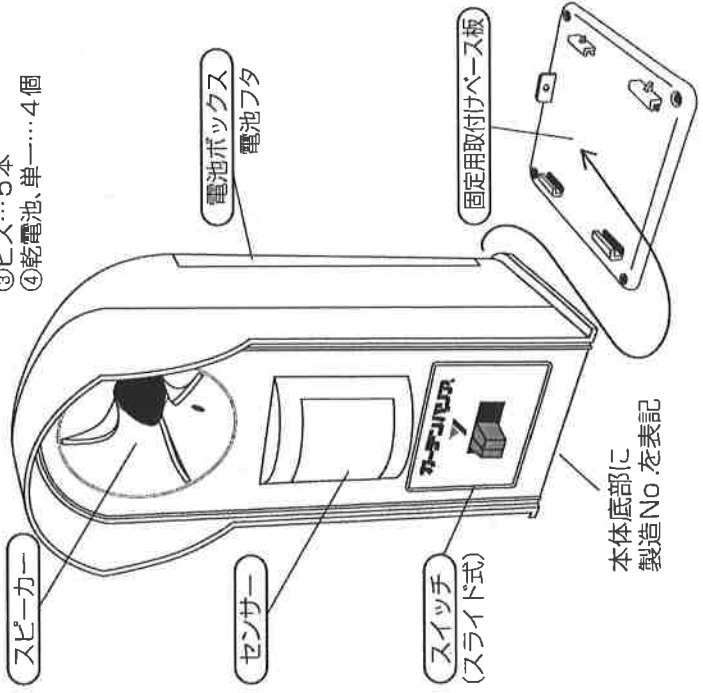
【付属品】

① 取扱説明書、及び保証書

② 固定用取付けベース板

③ ビス…5本

④ 乾電池、単一…4個



本体底部に
製造No.を表記

必ずお読み下さい



● 完全防水ではありませんので水に浸けたり水洗いはしないでください。又、本体が倒れたまま雨や水がかかると内部に水が入り故障する恐れがあります。暴雨時や水汲する恐れがある場合は必ず収納してください。

● 新しい電池と古い電池を組み合わせ使用しないでください。電池が発熱したり液もれの原因になります。(アルカリとマンガンの組み合わせも不可)

● ご使用にならない時は必ず電池をはずしてください。消耗した電池を入れたまま放置しますと、液もれを起こす場合があります。故障の原因になります。万一滴もれした場合は、液をよくふきとってください。又、液が皮膚や衣類に付着した場合は多量の水で洗い流してください。

● センサー部を強く押しついたり働を付けないでください。壊れたり性能の低下につながります。

● 強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

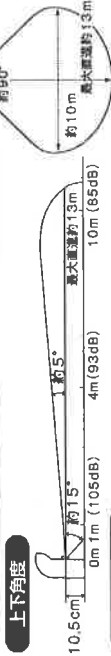
● 本器は超音波を利用しております。人に向けてたり、長時間スピーカー部に耳を近づけないでください。人によっては気分が悪くなったり、頭痛を起すことがあります。また、飼い猫や小動物にストレスを与える場合もありますので、本体を設置する際は、設置場所・方向に充分配慮してください。

各部のはたらき

スピーカー 18~23kHzの強力な超音波をランダムに発生させます。

センサー 作動確認ランプと電池確認ランプが内蔵されています。動物の体温から出る赤外線動きを捕らえ、その変位を超音波に連動させます。

センサー感知エリア



スイッチ (スライド式)

電池確認 緑ランプが点灯すれば電池OK

昼夜 24時間作動

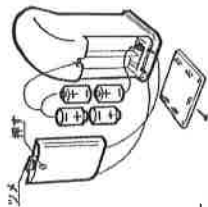
夜間 日没から夜明けまで作動

(光センサーにより10ルクス以下で作動)



電池ボックス (電池のセットの方法)

本体後ろ側の電池フタの開閉フックを下に押し下げ、フタを取りはずし、十の方向を確認して電池をセットします。電池セットが完了しましたら、後ろフタの下のツメを本体の下側の孔に先に差し込み、○印の部分をおカチッと音がするまで確実に押しつけて閉めてください。電池フタが確実にしまっていないと電池フタがはずれたり、水の浸入の原因となります。電池は作動回数に比例して消耗します。単一乾電池4個で約1800回作動します。電池の取替えの際は、必ず新品の同種の電池に4本ともお取替え下さい。



固定用取付けベース板

本体を固定する時にお使いください。
不安定な所や定位置に取り付けたい時に便利です。

ご使用される前に

作動確認方法

1. スイッチを「電池確認」の位置にし、センサー内部の緑ランプが点灯している事を確認ください。(点灯しない場合はもう一度電池を入れなおしてください。)
 2. スイッチを「昼夜」の位置まで進めセンサー内部の赤ランプが点灯していることを確認してください。(「カチツ」と小さな音と共に超音波を発します。)
 3. 約30秒後赤ランプが消灯し待機状態に入ります。
(スイッチを入れてから正常な作動になるまで約30秒かかります。)
 4. センサー感知エリア内に手などを動かすと、赤ランプが点灯して「カチツ」と鳴り、作動します。
 5. センサー感知エリア内に動く物がなくなった状態から約10秒ほどで赤ランプが消灯し待機します。
 6. スイッチを「夜間」の位置にすると明るい場所では停止します。センサーを手で覆うか、まわりを暗くすると作動を開始します。
(光センサーにより約10ルクス以下で作動します。)
- 異常がある場合はお客様相談窓口までご連絡ください。

設置方法について

センサー感知エリア

- を参考にしてネコの被害(糞害)のある所に方向を定め設置してください。
- センサー感知エリア内に障害物がある場合死角が発生します。(右図)死角内ではセンサーが感知しませんので、注意ください。
 - センサー感知エリアはネコなどを感知できる範囲です。効果範囲の目安としてください。
 - 太陽光、草木、洗濯物などの反射光や、冷暖房器具などの急激な温度変化により誤作動する場合があります。電池の寿命が短くなりま



- 超音波(音)は遠のくほど弱くなるので近い方が効果が高くなります。又、直進する性質がありますので、猫の高さに合わせて被害のある場所により近く設置してください。
- 「夜間」位置は、夜間のみ被害がある場合にご使用ください。
- 本器に対して、左右の動きを敏感に感知します。前後方向の動きとは感度の差がありますが故障ではありません。
- 出入口(通過点)だけに向けても通り過ぎる猫にとっては一瞬のこと

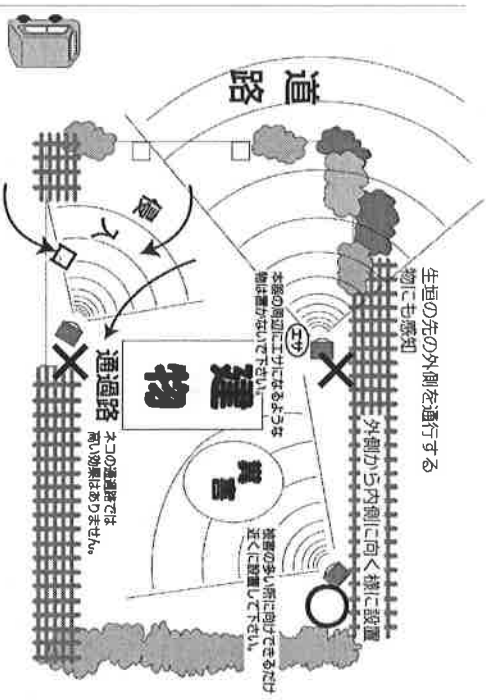
効果について

猫は非常に警戒心の強い動物です。

猫は常に、自分のテリトリー(行動範囲)内の状況を清明に覚えていきます。少しでも何か変わっているとその物に強い警戒と観察をします。しかし、この行動はすべて同じではありません。飼い猫と野良猫の違いや種類、性格、年齢によっても異なります。更に周囲の環境にも左右されます。

本器は、猫による糞害やイタズラを解消させるため、超音波により、猫にとって不快な場所であると学習させて、近付かなくさせようとする物です。猫には、本器の発する超音波は非常によく聴こえ、更に、本器の特長である「変動式超音波機能」がその猫を追尾する構に動きに合わせて超音波を発するため猫は慣れる事なくいやがり近付かなくなります。この時の反応も猫の性格やテリトリー意識によって違いがあります。臆病な猫にはすく効果が発揮しますが、グルーミングのリーターの場合もありません。このような事がしばしば続く事もあります。猫にとって不快な場所であるために近くに近寄らなくなり、やがて、聴力の低下している猫には効果が見られない場合もあります。但し、聴力の低下している猫には効果が見られない場合は当社、お客様相談窓口へご相談ください。設置場所や設置方法などについて適切な方法をご指導させていただきます。その後も効果が見られない場合は返品をお受け致します。(但し、購入後6カ月以内と致します)販売店、又は当社お客様相談窓口までお申し出ください。

- 本器は超音波を利用しております。人に向けてたり、長時間スピーカー一部に耳を近づけることがあります。また、飼い猫や小動物にストラスを充てる場合もありますので、本体を設置する際は、設置場所・方向に充分配慮してください。



故障かな?と思ったら...

修理を依頼される前に下の項目をチェックしてみてください

現象	原因	確認と対策
緑ランプが点灯しない	電池が消耗している	新しい乾電池に4個とも交換する
作動しない	電池が腐びている	新しい乾電池に4個とも交換する
赤ランプが点灯しない	電池の+-を誤っている	+-を確認する
すぐに停止する	電池が腐びている	新しい乾電池に4個とも交換する
センサー感知が鈍い	周囲が明るい時スイッチが「夜間」位置になっている	スイッチを「昼夜」位置にする
	センサーレンズが汚れている	やわらかい布で汚れを落とす
	設置場所が暗い	設置場所を変えてみる
	人や車に感知している	設置場所を変えてみる
	風などによって温度変化が起こっている	作動確認を行い(「ご使用される前に」を参照)、設置場所を変えてみる
	太陽光やヘッドライトなどが当たっている	設置場所を変えてみる
	異音・雑音がある	明るい場所で停止するか確認
	又ピーカー一部に砂などの異物が混入している	又ピーカー一部を下に向け振り落とす

以上の確認を行っても不調の場合は、販売店又は、当社相談室までお問い合わせください。

注意

本体内部に水が、はいったとき
すぐにスイッチを切り、電池をはずし乾かしてください。水がはいった状態で使用されますと、修理不可能になる事があります。

お手入れの方法

- ・柔らかい布で拭き取ってください。
- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を少し含めてふいてください。
- ・シンナーやベンジン、アルコール等は表面を傷めますので、使わないでください。
- ・又ピーカー一部やセンサーは腐つきやすいので、特にご注意ください。
- ・水洗いは絶対にしないでください。故障の原因になります。